

また、東川町では物ではなく文化による町づくりを目指し、昭和60年に「写真の町」宣言を行いました。平成6年から開催されている「全国高等学校写真選手権大会」では、国内外から高校生が東川町に集い写真を通じた交流を行っており、平成26年には写真と世界の人々を繋ぐことを目的に「写真文化首都」宣言を行いました。

外国人向けの日本語教育事業も推進しており、町内の福祉専門学校に日本語学科を開設し、さらに旧東川小学校校舎を利用して、日本初の「東川町立東川日本語学校」を開校し、東南アジア諸国を中心に16か国、述べ1,800人の留学生や研修生を受け入れております。

平成26年には、敷地約4ヘクタールの東川小学校を新設しました。小学校は平屋建てのオープン教室となっており、世界的に有名な芸術作品が展示され、廊下の延長が約270メートルもある大規模な教育施設であります。また、学童保育機能を有した地域交流センターや12ヘクタールの公園、人

工芝サッカー場、野球場、農園等が隣接しております。

東川町ではふるさと納税の制度に伴い「ひがしがわ株主制度」を創設し、特色のある4事業への投資を募っております。東川町への寄付を投資という形で行うことにより、寄付者ではなく株主となり、町の未来を共に育てていく制度となっております。東川町は定住人口を維持しながら「ひがしがわ株主制度」を活用して、東川町に魅力を感じ、応援してくれる交流人口を増やすことにより、地域の活性化を進めております。

境町では、移住・定住促進を町の重要施策の一つとして位置づけていることから、当委員会においても更に魅力あるまちづくりを推進するため、調査・研究を進めてまいります。



北海道上川郡東川町において様々な事業について調査・研究してまいりました

日亜外交樹立120周年記念  
モンテネグロ会館記念状贈呈式  
アルゼンチンタンゴショー

1月17日に、アルゼンチン共和国 駐日アルゼンチン特命全權大使アラン・ペロー閣下が来町され、上小橋地内のモンテネグロ会館において、日本アルゼンチン外交樹立120周年を祝う記念状が野本勇作さんに贈られました。

また、同日は午後から中央公民館において、アルゼンチンタンゴショーが盛大に開催され、多くの町民の方々を魅了してまいりました。



野本勇作さんに記念状が手渡されました